

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会 「第 3 回県民運動推進戦略部会」の開催結果について

1 日 時

令和 5 年 5 月 15 日（木） 10:30～12:06

2 場 所

長野県スポーツ会館 1 階 会議室

3 出席者

部会員 6 名 欠席者 なし （以下、敬称略）

学校法人松商学園松本大学 名誉教授 犬飼 己紀子

（特非）長野スポーツコミュニティクラブ東北 会長 柳見沢 宏

（公財）長野県長寿社会開発センター

主任シニア活動推進コーディネーター 戸田 千登美

佐久穂町総合政策課 主査 土屋 潤

小布施町企画財政課企画交流係 主査 小林 豊実

一般社団法人長野県観光機構 C X 事業部 スタッフ 宮原 理恵

オブザーバー 2 名

D X 推進課 D X 戦略推進役 川本 圭一

デジタルインフラ整備室 主事 小山 仁志

4 委員会概要

〈報告事項〉

部会員の変更について

〈検討事項〉

県民運動アクションプログラムにおける以下のテーマについて

- (1) 各ライフステージに応じたスポーツ・運動の取組
- (2) 2050 ゼロカーボン実現に向けて環境に配慮した取組
- (3) デジタル技術を最大限活用した取組
- (4) 国スポ・全障スポ周知の取組
- (5) 一校一都道府県運動の目的と想定される取組

■ 部会員からの御意見及び事務局の対応

部会員からの御意見（要旨）	事務局の対応
【①地域や世代の多様性に応じたスポーツ・運動の環境づくりに関する御意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者向けの取組が多い印象を受けるが、その間の世代に対する取組がさらに充実するとよいのではないか。 ・様々な世代が同じ場所に集まって一つのスポーツの環境をつくるといったように、スポーツを通じ異世代間交流ができる場が増えるとよい。 ・年齢ごと、競技ごとにコミュニティはそれぞれあるが、それらをネットワークとしてどのようにつなげていくかという点に地域としての課題を感じる。 	<p>御意見の趣旨を踏まえ、県・市町村の取組例として次の点を追加しました。</p> <p>「・多様性を考慮し、地域の環境や課題に合わせた総合的なイベントの企画、開催」</p> <p>また、市町村連絡会議、専用ウェブサイト、SNS等で情報共有の場の提供を検討します。</p>
【②シニアに対するデジタル普及に関する御意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・シニア層も昨今のデジタル化の流れを避けては通れないと感じている方が多いが、どこに聞いてよいかわからない状態のまま取り残され、孤立傾向が進むことに危機感を抱いている。 ・各市町村でスマホ教室の取組を行う中で、シニアの方もご自身でつながりを作り、暮らしが豊かになっているという状況もある。 	<p>御意見の趣旨を踏まえ、県・市町村の取組例として次の点を追加しました。</p> <p>「・シニアスマホ教室を開催し、シニアのDXを推進」</p>
【③デジタル技術を活用した取組に関する御意見】	
<ul style="list-style-type: none"> ・普通に運動するよりも仮想空間の映像を見ながら運動した方が、運動能力が高まるということを知った。そういったものに抵抗を感じる人もいるが、リスクを踏まえつつ新しい方法を進めていくというのも面白いと思う。 ・スポーツは一つのコミュニティだと思う。スマホ等を活用しグループを作って集まり交流していくというのが、昨今のスポーツを使ったコミュニティづくりの取組だと思う。 	<p>御意見の趣旨を踏まえ、県・市町村の取組例として次の点を追加しました。</p> <p>「・AI、AR、VR等を活用したイベントの開催、情報発信」</p> <p>「・SNS等を活用したコミュニティづくりと情報発信」</p>

■ 今後の予定

令和5年7～8月 県民運動アクションプログラム（案）について、県民運動推進戦略部会、広報・県民運動専門委員会、市町村へ意見照会（2回目）

令和5年9月 県民運動アクションプログラム（案）について、県民運動推進戦略部会、広報・県民運動専門委員会にて審議・決定